

5. 文献データベースによる 日本語論文の先行研究調査 —CiNii Researchを事例に



それでは、第5章では、日本語論文の先行研究調査について解説していきます。

適切なデータベースの選択：雑誌論文

全分野 or 特定分野

日本語論文 or 海外論文

分野	国内文献	海外文献
全分野	CiNii Research	Web of Science Scopus、ProQuest
国文学	国文学論文目録データベース	
日本語学	日本語研究・日本語教育文献データベース	
経済学		EconLit
教育学	教育研究論文索引	ERIC
社会学		SocINDEX
医学・薬学	医中誌Web、J-DreamIII	MEDLINE
自然科学・工学	J-DreamIII	

特定分野のデータベースの
ほうが一般的に、
・その分野に関して、収録
論文が多い
・より高度な検索が可能
(シソーラス等⇒補遺参照)

これらは一例です。
附属図書館Webサイトの
データベース一覧を一度
チェックしてみてください。

24

雑誌論文を探すときは、2つの視点でデータベースを選ぶのが基本です。
そのデータベースが、全分野を対象にしたものか、特定分野に特化したものか、
さらに、日本語論文か、海外論文か、という視点です。
特定分野型のデータベースは、全分野型に比べて、その分野の論文が豊富で、検
索機能が充実していることが多いです。

CiNii Researchとは <https://cir.nii.ac.jp/>

日本語論文を探す代表的な文献データベース

幅広い分野の雑誌論文を検索できる

この講習では CiNii Research を例に検索方法を学ぶ

※ 検索の考え方は他のデータベースにも共通



25

今回は、CiNii Research というデータベースを使って、日本語論文の検索方法を解説します。

CiNii Research は、全分野を対象にした学術情報データベースで、研究データ・雑誌論文・図書・博士論文などを幅広く検索することができます。

今回のように雑誌論文を探す場合は、スライドにあるように、あらかじめ「論文」タブを選択して検索するか、「すべて」で検索した後に、「論文」で絞り込むことができます。

人文社会科学系では、特定分野の日本語論文データベースが存在しない分野も多く、日本語論文の検索では CiNii Research が基本的なデータベースとなります。

この教材で紹介する方法は、特定のデータベースの操作方法というよりも、文献検索の考え方やコツです。そのため、ここで学んだ方法は他のデータベースを利用する際にも応用できます。

なお、CiNii Research には、スライド20で紹介した CiNii Books の機能が統合されていますが、この教材では、検索対象の違いを理解しやすいよう、図書は CiNii Books、論文は CiNii Research、という形で説明しています。

検索例題

選挙活動とウェブ動画の関係性についての先行研究調査

対象の雑誌論文はひとまず日本語のもののみとする



CiNii Researchで「選挙 動画」で論文を検索
→25件のみヒット

もっと文献がありそうな気がするのだけれど…



26

では、論文の検索をしてみましょう。みなさんも実際に CiNii Research で検索しながら学習してください。

Googleで「CiNii」と検索していただくと、CiNii Research に簡単にたどりつけます。

ここでは、「選挙活動とウェブ動画の関係性」というテーマで先行研究調査を行います。

まず思いつく2つのキーワード「選挙」と「動画」を入力して検索してみると何件ヒットするでしょうか。

スライドでは6/5時点の件数で論文が25件ヒットした画面を表示しています。

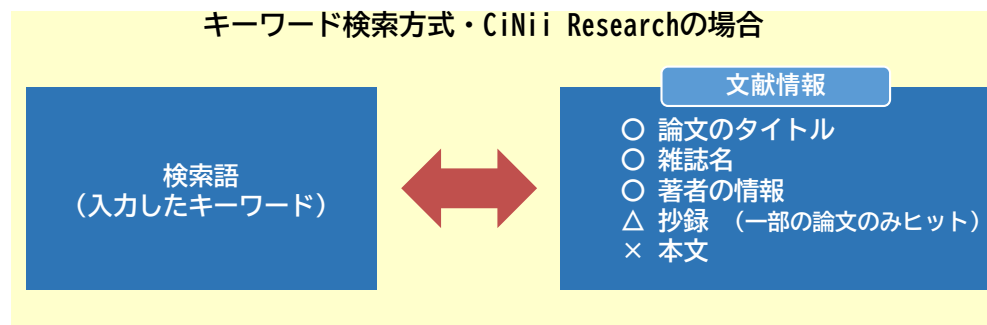
本当にこのテーマの論文はこんなに少ないのでしょうか？この後、いくつかのポイントを解説しながら、検証していきます。

※検索結果の件数は2026/6/5時点のものです。

ポイント1：データベースの検索方式

CiNii Researchは単純な「キーワード検索方式」

検索語と文献情報に含まれる言葉が一致すると、検索結果として表示される



27

検索のポイントの一つ目は、データベースの検索方式に注意する、ということです。

CiNii Research は「キーワード検索方式」のシンプルなデータベースです。
入力したキーワード、検索語が、論文タイトル・雑誌名・著者名などの文献情報と一致すると、検索結果に表示されます。

一致しない場合はヒットしません。

ポイント1：データベースの検索方式

検索結果は「言葉の一致」で決まる（表記のゆれにも注意）

例：論文タイトル「若年層の政治参加とユーチューブ動画」

- × 選挙 動画
- × 選挙 YouTube
- 選挙 ユーチューブ

※ データベースは意味ではなく、登録された語を検索している

人の目で見れば、
関係のある論文のように見えますが・・・

 **時代を映した参院選：プーチン、安倍氏銃撃、ユーチューブで投票行動に変化**

芹川 洋一 Voters = ボーターズ：明るい選挙 / 明るい選挙推進協会 編 (70) 7-9, 2022-10

Web Site

大阪大学で本文を探す

28

例えば、スライドの下の方に表示している論文「時代を映した参院選：プーチン、安倍氏銃撃、ユーチューブで投票行動に変化」は、今回探しているテーマに関係しているように思えますが、さきほどの検索ではヒットしません。

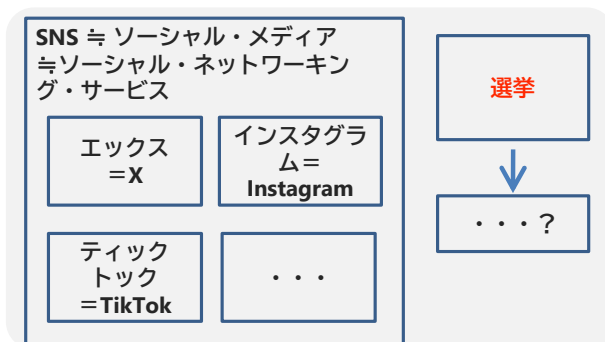
この論文は、「選挙 スペース 動画」や「選挙 スペース（英語の）YouTube」ではヒットせず、「選挙 スペース（カタカナの）ユーチューブ」の検索でようやくヒットします。

論文のタイトルに含まれているとおり、カタカナで「ユーチューブ」と入力しないとヒットしないのです。

そのため、次のポイントであげるような工夫が必要になってきます。

ポイント2：キーワードの検討

キーワード検索方式の場合、キーワードの選択が非常に重要
同義語、類義語、上位/下位語を検討する



自分でうまく思いつかないときは、
参考図書などを使って探してみま
しょう

29

検索のポイントの二つ目は、キーワードを検討することです。
CiNii Research のようなキーワード検索方式の場合、キーワードとして何を選
択するかが重要になります。
同義語や、類義語だけでなく、キーワードからみてより広い概念の上位語、ある
いは、より狭い概念の下位語なども検討してみましょう。

たとえば、SNSというキーワードは、「ソーシャル・メディア」「ソーシャル・
ネットワーキング・サービス」という表現がされているかもしれません。
また下位語としては、エックスやインスタグラム、ティックトックといった、具
体的なサービス名称で表現されていることも考えられるでしょう。
そしてさらに、それぞれのサービス名称についても、言い換えや表記方法の違い
を考えてみる必要があります。

次に、「選挙」というキーワードについても検討しましょう。自分で考えて他の
キーワードが見つからないときには、参考図書などを使って探してみるといいで
しょう。

ポイント2：キーワードの検討

百科事典や辞書類（冊子/オンライン）

例：「JapanKnowledge Lib」複数の辞書・事典をまとめて検索できるデータベース

附属図書館Webサイト TOPページの検索窓上側の「データベース」タブから
自宅から使うときは検索窓下側の「キャンパス外から電子リソースを使う」から

The screenshot shows the University of Osaka Libraries website. The main navigation bar includes '利用案内', '資料を探す', '学習・研究支援', '図書館について', and '4つの図書館'. Below this, there are search options: '図書検索', '電子ジャーナル・ブック', 'データベース', and 'まとめて検索'. A dropdown menu for 'よく使われるタイトル' is open, showing '辞書・事典' and 'JapanKnowledge Lib'. A green arrow points from the 'データベース' tab to the 'Off Campus Access' link in the search results. Another green arrow points from the 'キャンパス外から電子リソースを使う' link to the 'Off Campus Access' link. The search results for 'JapanKnowledge Lib' show '40種類以上の辞書・事典、記事、データベース等を基礎知識」、「日本国語大辞典」、「日本歴史地名大系季報」も利用できます。★新編国歌大観使い方ガイド（紀伊國屋書店作成）'. It also shows '同時アクセス数 10' and '日本語'.

参考図書とは、百科事典や辞書などのことです。参考図書にはオンラインで使えるものもあります。

例えば「JapanKnowledge Lib」は、複数の辞書・事典をまとめて検索できるデータベースです。

「JapanKnowledge Lib」は、自宅からも使うことができます。スライドの緑の枠や矢印が自宅から使う方法になります。

阪大図書館WebサイトのTOPページ検索窓の下側、「キャンパス外から電子リソースを使う」からアクセスすると、認証画面を経由して、KOANのIDとパスワードでログインすることで使えます。

また、タブをデータベースに切り替えて「すべてのタイトルを表示」をクリックすると、阪大で契約しているデータベースの一覧が表示されますが、その中で、タイトルの隣にRという赤いアイコンがついていれば、リモートアクセスできるつまりキャンパス外からも使えるデータベースですよ、というしるしです。その右の「Off Campus Access」をクリックすると、認証画面が表示されKOANのIDとパスワードでログインして使ってください。

ポイント2：キーワードの検討

関連する単語を視覚的に得ることができるツール

科学技術振興機構(JST)「シソーラスmap」 科学技術分野の専門用語が中心だが一般的な用語も収録

The screenshot shows the Thesaurus Map tool interface. At the top, the URL <https://thesaurus-map.jst.go.jp/> is displayed. Below the URL is a search bar with the text "ユーチューブ" (YouTube) entered. The interface is divided into several sections:

- Navigation and Search:** Includes buttons for "検索" (Search), "表示" (Display), "保存" (Save), and "ヘルプ" (Help). There are also options for "上位 全階層を表示" (Upper: Show all levels) and "下位 0階層中 0階層まで表示" (Lower: 0 levels shown, show up to 0 levels).
- Legend:** A legend on the right side identifies the colors used in the map: a red box for "検索語" (Search term), a blue box for "シソーラス" (Thesaurus), and a green circle for "大規模辞書" (Large dictionary).
- Thesaurus Map:** A central diagram shows a hierarchy of terms. "サービス" (Service) is at the top, leading to "情報サービス" (Information service), which leads to "ユーチューブ" (YouTube). To the right, "インターネット" (Internet) leads to "動画" (Video), which leads to "情報共有" (Information sharing), which leads to "Web" (Web). A yellow box highlights the "ユーチューブ" node.
- Search Results:** A yellow box below the highlighted node provides details for "ユーチューブ":
 - 英語: YouTube
 - 同義語: (なし)
 - 異表記: YouTube
 - Googleで検索
 - J-GLOBALで検索
 - 「ユーチューブ」の共出現語をグラフ表示
- Category Grid:** A grid of buttons on the left side allows users to filter terms by category, such as "検索システム", "Google", "アップロード", "利用書", "言語", "情報サービス", "検索結果", "モデリテイ", "多言語", "映像コンテンツ", "機械学習", "品質", "新興", "コンテンツ", "クロスチェック機能分析", "感情分析", "Facebook", "応用プログラム", "相互作用", "モデル", "ソーシャルメディア", "アスピリン", "BERT", "ツイッター", "感情", "字幕", "視聴者", "オンライン", "グルコース", "ランダムフォレスト", "内容分析", "最適化", "添字", "信頼性", and "情報メディア".

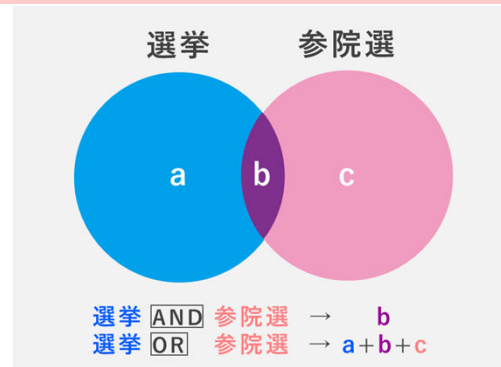
31

キーワードを得るのに便利なツールをここで一つご紹介します。
科学技術振興機構が提供している、「シソーラスmap」というツールです。
科学技術分野の専門用語が中心なのですが、「ユーチューブ」などの一般的な用語も入っています。ある単語の上位・下位の概念や、関連する単語を視覚的に得ることができます。

ポイント3：論理演算（AND/OR など）

種類	CiNii Researchでの入力方法
AND 検索	選挙△参院選 「選挙」と「参院選」両方の キーワードを含む資料を検索
OR 検索	選挙△OR△参院選 「選挙」もしくは「参院選」の どちらかのキーワードを含む資料を検索

※「△」はスペース（半角でも全角でもOK）



同義語、類義語、上位/下位語をOR検索で活用するとより漏れが少ない形での検索ができます。



32

検索のポイントの三つ目は、論理演算です。論理演算を使って、集めたキーワードを有効に活用しましょう。

最もよく使う論理演算としては、AND検索とOR検索の二つです。

AND検索は入力した全てのキーワードを含むものを検索する方法です。CiNii Researchではキーワードの間にスペースを入れるとAND検索になります。グーグルなど一般的な検索のイメージと同じです。

一方、OR検索は、入力したキーワードのどれか1つを含めば良い、という検索方法です。

CiNii Researchではキーワードとキーワードの間に大文字の「OR」を入力することで、OR検索になります。特に、同義語、類義語、上位語、下位語をOR検索で活用すると、より漏れが少ない形での検索が可能です。

なお、データベースによって、使用できる論理演算の種類や入力方法は異なりますので、新しいデータベースを使うときは、まずヘルプページやマニュアルを確認してみることをおすすめします。

検索例題を実際にやってみよう

検索例題：

選挙活動とウェブ動画の関係性についての先行研究調査

- 対象の雑誌論文はひとまず日本語のもののみ
- 使用するデータベースはCiNii Research

<https://cir.nii.ac.jp/>

- ・ 検索式の中の「△」はスペース。
半角でも全角でもOK。
- ・ CiNiiでは()で囲んだ箇所はグループとなって、
検索式上で優先されます。

※ヒット件数は2026年6月5日時点

検索式①「選挙△動画」

選挙 動画

検索

すべて 34	研究データ 0	論文 25	本 5	博士論文 0	プロジェクト 3	人物 60	▼ 詳細検索
-----------	------------	----------	--------	-----------	-------------	----------	--------

25件

33

それでは、ここまでご紹介した三つのポイントを踏まえて、実際に検索例題をやってみましょう。

先の検索で、「選挙 スペース 動画」では25件しかヒットしませんでした。AND検索をしたことで、二つのキーワードの両方を含むものが検索にヒットしました。検索結果を増やすために、まずは「選挙」のほうの同義語、類義語、上位語、下位語、関連語を検討します。

検索例題を実際にやってみよう

【キーワード：選挙】

改善策の検討（キーワードを展開する）

- ・件数が明らかに少ないので、「選挙」の同義語、類義語、上位/下位語を検討
- ・類義語「投票」、下位語「衆院選」「参院選」、関連語「政治」
- ・関連キーワードを思いつかないときは、ポイント2で紹介した参考図書やツール類を使う
→「JapanKnowledge Lib」で「選挙」を検索すると、「有権者」「政党」といった関連キーワードが見つかった

検索式② <選挙のグループ> AND 動画

(選挙△OR△投票△OR△衆院選△OR△参院選△OR△有権者△OR△政治△OR△政党)
△動画

(選挙 OR 投票 OR 衆院選 OR 参院選 OR 有権者 OR 政治 OR 政党) 動画							検索
すべて	研究データ	論文	本	博士論文	プロジェクト	人物	詳細検索
114	1	79	10	0	22	264	

79件

34

「選挙」の言いかえとして、「投票」という類義語を用意しました。また、下位語の「衆院選」「参院選」、関連語の「有権者」「政治」も使ってみましょう。

自分でキーワードが思い浮かばないときは、ポイント2で紹介した参考図書やWebサイトを使うと良いでしょう。

例えば、「JapanKnowledge Lib」で「投票行動」で検索してみたところ、「有権者」「政党」「インターネット選挙」「公職選挙法」といった関連キーワードを入手できました。このうち、「インターネット選挙」「公職選挙法」という語は「選挙」で検索すれば必ずヒットするので、検索語には含めなくても大丈夫です。

これらを使ってOR検索を試してみます。

追加したキーワード全てを「OR」でつなげて、()でくくると、その部分をグループ化することができます。

こうして、「選挙」という概念に関するひとつのグループができました。このグループと、「動画」のキーワードとのAND検索という形で検索すると、結果は79件でした。最初の25件からさらに増えていますよね。

次は「動画」の方のキーワードを検討してみましょう。

検索例題を実際にやってみよう

【キーワード：動画】

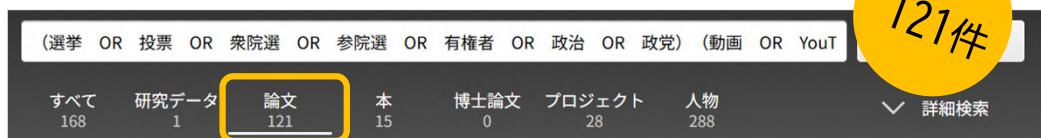
改善策の検討（キーワードを展開する）

- 「動画」だけでなく、YouTube、Instagram、TikTokなどの具体的なサービス名でも検索してみる
- 検索漏れを防ぐため、日本語表記と英語表記の両方をキーワードとして利用する

検索式③ <選挙のグループ> AND <動画のグループ>

(選挙△OR△投票△OR△衆院選△OR△参院選△OR△有権者△OR△政治△OR△政党)

△(動画△OR△YouTube△OR△ユーチューブ△OR△YouTuber△OR△ユーチューバー△OR△Instagram△OR△インスタグラム△OR△TikTok△OR△ティックトック)



「動画」の関連語として、YouTube や Instagram、TikTokを用意しました。日本語論文では、Twitter や Facebookは、英語表記とカタカナ表記の両方が使われる可能性があるのでどちらも候補に入れます。

「選挙」のキーワードのグループを作ったときと同様に、全てを大文字の「OR」でつなげ、()でくくります。こうすることで、「選挙」のグループと、「動画」のグループが、AND検索という形でつながります。これで検索すると、結果は121件になりました。

ついでさらに検討してみます

検索例題を実際にやってみよう

【検索結果から】

改善策の検討 検索結果から

- 「ディープフェイク」が関連概念であると分かった
 - 選挙とフェイク動画の関係を扱う論文も見つかった
- ⇒ 「ディープフェイク」「フェイク動画」を検索語に追加する

検索式④ <選挙のグループ> AND <動画のグループ>

(選挙△OR△投票△OR△衆院選△OR△参院選△OR△有権者△OR△政治△OR△政党)
△(動画△OR△YouTube△OR△ユーチューブ△OR△YouTuber△OR△ユーチューバー△OR△Instagram△OR△
インスタグラム△OR△TikTok△OR△ティックトック△OR△
ディープフェイク△OR△deepfake△OR△フェイク動画)

すべて	研究データ	論文	本	博士論文	プロジェクト	人物	詳細検索
189	1	140	17	0	28	290	

さらに、もう少し検索結果を広げる方法はないかを考えてみます。ここでヒントになるのは検索結果に出てきている論文タイトルなどです。検索結果を簡単に見ていくと、他にも見えそうなキーワードを得られることが実際はよくあります。

選挙運動においてフェイク動画が用いられていると指摘する文献が複数見つかったため、「ディープフェイク」も関連するキーワードとして活用できそうだと判断し、検索語に追加してみます。

動画のグループのほうに「ディープフェイク」とその関連語をORで追加してスライドのようにして検索してみると、140件出てきました。最初の19件から比べると、かなり増やすことができました。これでもまだ少ないと思われるときは、これまで紹介した方法を使って検索式をさらに改良してみてください。

これで検索例題は終了です。文献データベースでの検索では、キーワードや検索式を工夫することが非常に重要だと実感していただけたなら幸いです。

データベース検索で心がけること

予測と検証を繰り返す

ヒットが少なすぎる → 検索語を広げる

ヒットが多すぎる → 検索語を絞る

検索結果を見ながら検索式を改善する

検索式と件数を記録する

記録しておくことで、検索式の調整が簡単になる

先行研究調査を再度行う際にも便利

先行研究調査は「探す→見直す→探し直す」の繰り返し。
検索結果そのものが、新しい検索語を見つける手がかりになります。



37

データベース検索で心がけることは、予測と検証が大事、ということです。
検索結果が少なすぎる場合には、OR検索を使って、検索語を広げ、逆に、検索結果が多すぎる場合には、AND検索で検索語を絞りましょう。
キーワードや検索式は、ばらばらと思いつきで作成するのではなく、予測を立て、検証をしながら、改善していきましょう。
検索式と件数を記録しておけば、検索式の調整がスムーズです。

そして、先行研究調査は一度行って終わりではありません。研究を続けていく場合、定期的に調査が必要なタイミングがあります。検索式を記録しておけば、再調査の時にも便利です。

選別作業：検索式の検討が終わったら

検索結果の選別

論文タイトル・抄録・掲載誌などをもとに自分で選別する

検索式で絞り込みすぎると重要文献を見落とすことがある

「すぐ読めるかどうか」は選別基準にしない

選別が終わってから入手へ進む

具体的な入手方法は、本シリーズ②の「フルテキスト入手法」で解説

38

ある程度納得できる検索式が固まったら、検索結果からの選別を自分の目で行います。

検索式で件数を絞り込みすぎると、有用な論文を取りこぼしてしまうことがあります。100件程度の件数であれば、自分の目でざっと確認してみましょう。

論文のタイトルや掲載された雑誌名などをもとに選別をしていきます。

CiNii Research は論文の要約にあたる抄録が含まれているものもありますので、抄録を参考にして選別するのも良いでしょう。

選別の際には「すぐに読めるかできるかどうか」ということは基準にしないでください。すぐに読めない場合でも重要な文献である可能性がありますので、入手の可否は考えずに選別作業を行きましょう。

そして、選別作業が完了してから、実際の入手作業を行います。

この入手作業については、実は阪大で入手できる場合、他大学から取寄せて入手できる場合、国立国会図書館から取寄せて入手できる場合といろいろな入手方法があります。

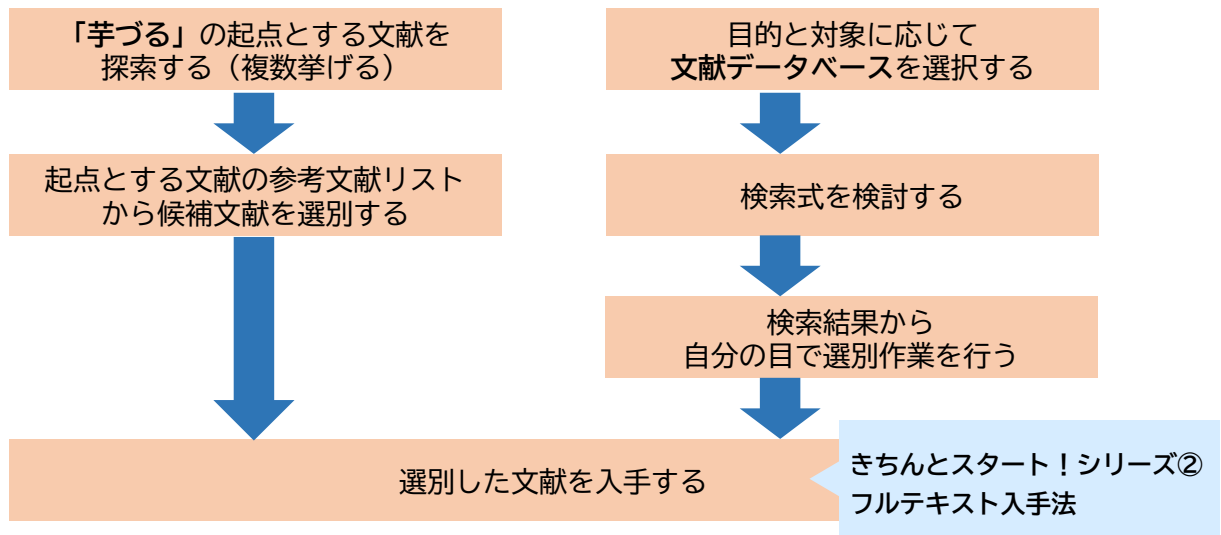
この入手方法については、このシリーズの二つ目の教材「学部4回生・大学院生のためのフルテキスト入手法」でご紹介します。

まとめ



最後に、この教材のまとめです。

先行研究調査での文献探索～入手までの流れ（おさらい）



先行研究調査での論文検索から入手までの流れは概ねこのような形です。

左側のラインが「芋づる式」の調査方法、右側のラインが文献データベースによる調査方法です。

片方の方法でしか見つけられない文献もありますので、両方の方法をしっかり併用して、漏れのない先行研究調査へとつなげていきましょう。

そして、この教材で学習したことを、実際に手を動かして身に付けていただければ幸いです。

ご相談ください

総合図書館B棟2F 参考調査カウンター

- 職員がお待ちしています
- 平日9:00-17:00（事前予約不要）
- メール・オンラインでの相談も受け付けます



大阪大学附属図書館 レファレンスデスク

https://www.library.osaka-u.ac.jp/research/reference_desk/

- メール・フォーム・オンラインでの相談受付中
- 附属図書館4館のレファレンス・スタッフが
随時ご相談・参考調査に応じています



実際にやってみると、それぞれのデータベースの使い方や、適切なデータベースの選択、検索式やキーワードの検討などで迷ったり困ったりすることがあるかと思えます。

その際は、ぜひ総合図書館参考調査カウンターへご相談ください。

平日の9時から17時の間、私たち職員がお待ちしています。また、メールやオンラインでの相談も受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

また、大阪大学附属図書館の4館のレファレンス・スタッフが随時ご相談や調査を受け付けています。メール・フォーム・オンラインの方法で可能ですので、詳しくは、画面のQRコードから図書館Webページをご覧ください。

参考文献リスト

明石芳彦(2018)『社会科学系論文の書き方』ミネルヴァ書房.

秋山哲雄, 田中大喜, 野口華世編(2021)『日本中世史入門：論文を書こう』増補改訂新版. 勉誠出版.

味岡美豊子(2009)『社会人・学生のための情報検索入門』ひつじ書房.

白井利明, 高橋一郎(2013)『よくわかる卒論の書き方』第2版. ミネルヴァ書房.

藤田節子(2007)『キーワード検索がわかる』筑摩書房.

村上紀夫(2019)『歴史学で卒業論文を書くために』創元社.

矢田竣太郎(2025)「動向レビュー：生成AIを用いた文献調査ツール」『カレントアウェアネス』 362号、p. 6-10.